令和7年度　東邦音楽大学　音楽学部　音楽学科【ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ総合芸術文化専攻】カリキュラムツリー（履修系統図）

カリキュラムポリシー

知識・技能
- 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
- 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
- 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
- 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
- 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
- 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
- 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
- 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

科目の区分

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期

基礎教育科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞB	芸術文化とユネスコA	芸術文化とユネスコB				

全学共通科目（講義・演習系）
（人間探究）文化芸術論A・B／グローバルミュージックA・B　**（社会的視点）**日本国憲法と生活A・B　**（自然理解）**ひとを読み解く科学A・B（※令和7年度はBは未開講）／情報スキルA・B（R5入学生入学生より（自然理解）区分）

外国の言語と文化

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
Basic English 1	Basic English 2	Career English A	Career English B	English Presentation A	English Presentation B		
Advanced English 1	Advanced English 2	Communication Skills ⅡA	Communication Skills ⅡB				
Communication Skills ⅠA	Communication Skills ⅠB	Advanced Communication Skills ⅡA	Advanced Communication Skills ⅡB				
Advanced Communication Skills ⅠA	Advanced Communication Skills ⅠB						
ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝA	ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝB						

赤字……必修科目
青字……選択必修科目
黒字……選択科目

音楽専門教育科目

共通専門教育科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
音楽の基礎理論A（R5年度以降入学生は選択）	音楽の基礎理論B（基礎和声を含む）（R5年度以降入学生は選択）	日本の伝統音楽概説　A	日本の伝統音楽概説　B	ビジネスチャレンジャー　A（3～4年次）	ビジネスチャレンジャー　B（3～4年次）		
ライブパフォーマンス＆スタッフワークA	ライブパフォーマンス＆スタッフワークB			ショービズベイシックソルフェージュ　A（3～4年次）	ショービズベイシックソルフェージュ　B（3～4年次）		

共通専門科目
シネマ～音楽と演出／作曲家の肖像と作品の魅力ⅠA・B／作曲家の肖像と作品の魅力ⅡA・B／作曲家の肖像と作品の魅力ⅢA・B／西洋音楽史／日本音楽史／エンタメビジネスA・B／キャリア・クリエイティブ・メソッドA・B

パフォーマンス総合芸術文化専攻科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
P.A.C.S. 1（Performance,the Arts and Culture Studies）	P.A.C.S. 2（Performance,the Arts and Culture Studies）	P.A.C.S. 3（Performance,the Arts and Culture Studies）	P.A.C.S. 4（Performance,the Arts and Culture Studies）	P.A.C.S. 5（Performance,the Arts and Culture Studies）	P.A.C.S. 6（Performance,the Arts and Culture Studies）	P.A.C.S. 7（Performance,the Arts and Culture Studies）	P.A.C.S. 8（Performance,the Arts and Culture Studies）
ポップス・ボーカルアプローチA	ポップス・ボーカルアプローチB	エンタメプロデュースA	エンタメプロデュースB				
		ステージングとパフォーマンス／演技とパフォーマンス／THE業界人（仕事の流儀）ⅠA・B					
		The Science of Sound（音の科学）A・B					
				THE業界人（仕事の流儀）ⅡA・B			
				セルフプロデュースパフォーマンスA	セルフプロデュースパフォーマンスB	卒業研究発表	

人間教育科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4	
		キャリア実践（パフォーマンス総合芸術文化専攻）Ⅰ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（パフォーマンス総合芸術文化専攻）Ⅰ		キャリア実践（パフォーマンス総合芸術文化専攻）Ⅱ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（パフォーマンス総合芸術文化専攻）Ⅱ		キャリア実践（パフォーマンス総合芸術文化専攻）Ⅲ ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（パフォーマンス総合芸術文化専攻）Ⅲ	
				オンエアプロデュースA	オンエアプロデュースB		

文化教養科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
音楽実技　ⅠA 声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・打楽器・電子オルガン・シンガーソングライターアーティストより選択	音楽実技　ⅠB 声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・打楽器・電子オルガン・シンガーソングライターアーティストより選択	音楽実技　ⅡA 声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・打楽器・電子オルガン・シンガーソングライターアーティストより選択	音楽実技　ⅡB 声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・打楽器・電子オルガン・シンガーソングライターアーティストより選択	音楽実技　ⅢA 声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・打楽器・電子オルガン・シンガーソングライターアーティストより選択	音楽実技　ⅢB 声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・打楽器・電子オルガン・シンガーソングライターアーティストより選択	音楽実技　ⅣA 声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・打楽器・電子オルガン・シンガーソングライターアーティストより選択	音楽実技　ⅣB 声楽・ピアノ・管楽器・弦楽器・打楽器・電子オルガン・シンガーソングライターアーティストより選択

ディプロマポリシー

知識・技能
- 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
- 専攻分野を中心とした知識と技能+BY5:BZ20H5:BZ66BY5:BZ20
- 国際的な視野に立った広範な文化の理解

エンターテイメントに関する専門的知識・技能を修得し、自らの発想及び思考を適切に表現することができる。
- ・エンターテイメントを含む芸術作品の歴史や社会背景を理解し、さまざまな視点をもつことができる。
- ・エンターテイメントを取り巻く時代の変化に的確に対応し、多様なイベント等を企画、立案することができる。
- ・自身のパフォーマンス、スタッフワーク及びコミュニケーションのあり方を卒業作品発表において表現することができる。

思考力・判断力・表現力
- 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力
- 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
- 自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性
- 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
- 国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲
- 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）
- 生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）
- 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）

建学の精神・教育の理念【音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする】

令和7年度　東邦音楽大学　音楽学部　音楽学科【教職実践専攻】カリキュラムツリー（履修系統図）

カリキュラムポリシー

知識・技能

- 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
- 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
- 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
- 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力

- 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
- 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性

- 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
- 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

科目の区分

- 基礎教育科目
  - 外国の言語と文化
- 共通専門教育科目
- 音楽専門教育科目
  - 教職実践専攻
    - 声楽
    - ピアノ
    - 管弦打
- 人間教育科目
- 文化教養科目
- 課外講座

1年次

前期	後期
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠB

2年次

前期	後期
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡA（R5年度以降入学生は選択）	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡB（R5年度以降入学生は選択）

3年次

前期	後期

4年次

前期	後期

全学共通科目（講義・演習系）

(人間探究)哲学A・B(※令和7年度は未開講)/文化芸術論A・B/ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論**(社会的視点)**日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論〔老人・児童福祉を含む〕A・B**(自然理解)**ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学〔発達心理を含む〕A・B/ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ演習A・B

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
ｽﾎﾟｰﾂ演習	ｽﾎﾟｰﾂ文化論						
教職入門（人間探究） 教育学概説（社会的視点）	教育心理学（自然理解） 教育相談・進路指導（人間探究）			教育方法（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）（社会的視点）			
ﾄﾞｲﾂ語1 英語1 ｲﾀﾘｱ語1 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1	ﾄﾞｲﾂ語2 英語2 ｲﾀﾘｱ語2 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2	ｳｨｰﾝの社会と文化A（R5年度以降入学生は選択） ﾄﾞｲﾂ語3 英語3 ｲﾀﾘｱ語3 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3	ｳｨｰﾝの社会と文化B（R5年度以降入学生は選択） ﾄﾞｲﾂ語4 英語4 ｲﾀﾘｱ語4 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4				
和声学1 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4	対位法A 楽式論A（作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸA（作曲法・編曲法を含む）R7年度入学生より履修可	対位法B 楽式論B（作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸB（作曲法・編曲法を含む）R8年度入学生より履修可		
		教育行政 道徳教育の指導法 生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 特別活動の指導法	音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解		総合的な学習の時間の指導法	教育実習指導 教育実習	教職実践演習（中・高）
教育総合科目（教職実践）ⅠA	教育総合科目（教職実践）ⅠB			教育総合科目（教職実践）ⅡA	教育総合科目（教職実践）ⅡB		
インターンシップ（教職実践専攻）Ⅰ（R4年度入学生まで履修可）				インターンシップ（教職実践専攻）Ⅱ（R4年度入学生まで履修可）			
教育現場体験（教職実践専攻）Ⅰ（令和5年度入学生より履修可）				教育現場体験（教職実践専攻）Ⅱ（令和5年度入学生より履修可）			

共通専門科目（講義系）

指揮法（1～3年次）／音楽文化論A・B（R7年度は未開講）／日本音楽史概説A・B／日本の伝統音楽概論A・B（1～3年次）（R5年度以降入学生は選択）／音楽療法的音楽論（R6年度入学生まで履修可）／日本と世界のポピュラー音楽（R7年度以降入学生より履修可）（R7年度は未開講）／音楽心理学A・B／現代音楽教師論（R5年度以降入学生は選択）（令和7年度は未開講）／作品研究〔鍵盤〕A・B／作品研究〔管弦楽〕A・B／作品研究〔オペラ〕A・B／作品研究〔歌曲〕A・B／アジア音楽文化論（令和7年度は未開講）／音楽と仕事（3年次）（令和7年度は未開講）

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
音楽実技1（R6年度入学生まで履修可） Vo・Pf・管弦打	音楽実技2（R6年度入学生まで履修可） Vo・Pf・管弦打	音楽実技3（R6年度入学生まで履修可） Vo・Pf・管弦打	音楽実技4（R6年度入学生まで履修可） Vo・Pf・管弦打	音楽実技5（R6年度入学生まで履修可） Vo・Pf・管弦打	音楽実技6（R6年度入学生まで履修可） Vo・Pf・管弦打	音楽実技7（R6年度入学生まで履修可） Vo・Pf・管弦打	音楽実技8（R6年度入学生まで履修可） Vo・Pf・管弦打
	教職特講（教職実践専攻）Ⅰ（R6年度入学生まで履修可）		教職特講（教職実践専攻）Ⅱ（R6年度入学生まで履修可）		教職特講（教職実践専攻）Ⅲ（R6年度入学生まで履修可）	教職特講（教職実践専攻）Ⅳ（R6年度入学生まで履修可）	
教職実践ⅠA（R7年度入学生より履修可）	教職実践ⅠB（R7年度入学生より履修可）	教職実践ⅡA（R7年度入学生より履修可）	教職実践ⅡB（R7年度入学生より履修可）	教職実践ⅢA（R7年度入学生より履修可）	教職実践ⅢB（R7年度入学生より履修可）	教職実践ⅣA（R7年度入学生より履修可）	教職実践ⅣB（R7年度入学生より履修可）
教職実践専攻実技ⅠA Vo・Pf・管弦打（R7年度入学生より履修可）	教職実践専攻実技ⅠB Vo・Pf・管弦打（R7年度入学生より履修可）	教職実践専攻実技ⅡA Vo・Pf・管弦打（R7年度入学生より履修可）	教職実践専攻実技ⅡB Vo・Pf・管弦打（R7年度入学生より履修可）	教職実践専攻実技ⅢA Vo・Pf・管弦打（R7年度入学生より履修可）	教職実践専攻実技ⅢB Vo・Pf・管弦打（R7年度入学生より履修可）	教職実践専攻実技ⅣA Vo・Pf・管弦打（R7年度入学生より履修可）	教職実践専攻実技ⅣB Vo・Pf・管弦打（R7年度入学生より履修可）
			楽器の特性と機能（教職）（R5年度以降入学生は選択）（R7年度は未開講）	合奏A（和楽器を含む）	合奏B（和楽器を含む）		
		ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B				
		音楽科教育法A	音楽科教育法B	音楽科教材研究A	音楽科教材研究B		
		教材伴奏法ⅠA	教材伴奏法ⅠB	教材伴奏法ⅡA（R5年度以降入学生は選択）	教材伴奏法ⅡB（R5年度以降入学生は選択）		
合唱ⅠA	合唱ⅠB	合唱ⅡA	合唱ⅡB	合唱ⅢA（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅢB（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅣA（R5年度以降入学生は選択）	合唱ⅣB（R5年度以降入学生は選択）
副科声楽ⅠA	副科声楽ⅠB	副科声楽ⅡA	副科声楽ⅡB	※　副科声楽ⅢA	※　副科声楽ⅢB	※　副科声楽ⅣA	※　副科声楽ⅣB
副科ピアノⅠA	副科ピアノⅠB	副科ピアノⅡA	副科ピアノⅡB	副科ピアノⅢA	副科ピアノⅢB	副科ピアノⅣA	副科ピアノⅣB
副科管弦打楽器ⅠA	副科管弦打楽器ⅠB	副科管弦打楽器ⅡA	副科管弦打楽器ⅡB	※　副科管弦打楽器ⅢA	※　副科管弦打楽器ⅢB	※　副科管弦打楽器ⅣA	※　副科管弦打楽器ⅣB
副科実技は、音楽実技で選択した以外の専門について選択できる				（※印の科目は、令和6年度以前に入学した教職実践専攻生は履修できません）		（※印の科目は、令和6年度以前に入学した教職実践専攻生は履修できません）	
ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ1	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ2	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ3	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ4	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰA	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰB		
					学内研究発表		卒業研究発表
声楽選択生のみ必修⇒		朗読法A〔ﾄﾞｲﾂ語〕	朗読法B〔ｲﾀﾘｱ語〕	ｵﾍﾟﾗ研究ⅠA	ｵﾍﾟﾗ研究ⅠB	ｵﾍﾟﾗ研究ⅡA	ｵﾍﾟﾗ研究ⅡB
		ﾋﾟｱﾉ/ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙA ピアノ伴奏法ⅠA	ﾋﾟｱﾉ/ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙB ピアノ伴奏法ⅠB	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅠA ピアノ伴奏法ⅡA	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅠB ピアノ伴奏法ⅡB	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅡA	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅡB
室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス
ｵｰｹｽﾄﾗⅠA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠA	ｵｰｹｽﾄﾗⅠB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠB	ｵｰｹｽﾄﾗⅡA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡA	ｵｰｹｽﾄﾗⅡB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡB	ｵｰｹｽﾄﾗⅢA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅢA	ｵｰｹｽﾄﾗⅢB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅢB	ｵｰｹｽﾄﾗⅣA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅣA	ｵｰｹｽﾄﾗⅣB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅣB
				ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰ（ｳｨｰﾝ研修）（R7年度入学生より選択）		演奏演習	
ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4	
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅠ（R6年度入学生まで履修可）		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅡ（R6年度入学生まで履修可）			
		キャリア実践（R7年度以降入学生より履修可）		インターンシップ（R7年度以降入学生より履修可）			
地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅠA・ⅠB							
		地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅡA・ⅡB					
地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅠA・ⅠB							
		地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅡA・ⅡB					
		ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠB	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡB		
						教員採用試験受験特別講座	
		キャリアガイダンス特別講座					

- 赤字　必修科目
- 青字　……選択必修科目
- 黒字　……選択科目
- 赤字　……教職科目

ディプロマポリシー

知識・技能

- 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
- 専攻分野を中心とした知識と技能
- 国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力

- 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力
- 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
- 自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性

- 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
- 国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲
- 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）
- 生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）
- 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）

音楽教育に関する専門的知識・技能を修得し、それらを教育実践に活用することができる。

- 学修目標が明確でわかりやすい教科指導を行うことができる。
- 他領域にも視野を拡げ、主体性を引き出すための創意工夫に富んだ学習指導案や教材を作成することができる。
- ICT機器や情報通信技術を活用して授業や教育活動を行なうことができる。

建学の精神・教育の理念【音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする】

令和7年度　東邦音楽大学　音楽学部　音楽学科 【Konzertfach演奏専攻】 カリキュラムツリー（履修系統図）

カリキュラムポリシー

知識・技能
- 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
- 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
- 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
- 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。
- 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

思考力・判断力・表現力
- 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
- 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
- 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

ディプロマポリシー

知識・技能
- 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
- 専攻分野を中心とした知識と技能
- 国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力
- 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力
- 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決力をする能力
- 自己発信のプレゼンテーション能力
- 専門分野を超えて問題を探求する姿勢

意欲・関心・志向性
- 国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲
- 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）
- 生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）
- 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）

【ピアノ専門】知識・技能
- 専門分野であるピアノ演奏において、高度な専門的知識・技能を修得し、自らの演奏スタイルを確立するとともに、広く音楽界に通用する演奏をすることができる。
  - ・鍵盤音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式に沿った演奏ができる。
  - ・鍵盤音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式に沿った演奏ができる。
  - ・専門領域以外にも視野を拡げ、幅広いレパートリーを持ち、高い音楽性と豊かな表現力を持って演奏することができる。

【声楽専門】知識・技能
- 専門分野である声楽に関する専門的知識や高度な技能を修得し、声楽の特徴である言葉を伴う音楽表現に必要な知識・技術を身につけ、表現することができる。
  - ・声楽の高度な技術を身につけ、実践することができる。
  - ・声楽の多様な形態における言語や知識を身につけ、歴史的背景をふまえた演奏ができる。
  - ・専門領域以外にも視野を拡げ、高い音楽性と豊かな表現力を持って演奏することができる。

【管弦打楽器専門】知識・技能
- 専門分野である管弦打楽器に関する、高度な専門的知識・技能を修得し、多様な音楽表現ができる。
  - ・管弦打楽器の音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式に沿った演奏ができる。
  - ・専攻楽器に関する専門的知識や高度な演奏技術を身につけ、ソロ、オーケストラ等の実践的な演奏表現ができる。
  - ・専門以外の楽器の特性や他領域にも視野を拡げて、高い音楽性と豊かな表現力を持ってえんそうすることができる演奏することができる。

建学の精神・教育の理念【音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする】

科目の区分	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
基礎教育科目	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡB				
基礎教育科目	全学共通科目（講義・演習系）（人間探究）哲学A・B(※令和7年度は未開講)/文化芸術論A・B/ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論（社会的視点）日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論〔老人・児童福祉を含む〕A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学〔発達心理を含む〕A・B/ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ演習A・B							
基礎教育科目	ｽﾎﾟｰﾂ演習	ｽﾎﾟｰﾂ文化論						
外国の言語と文化	ドイツ語(konzertfach)1 英語1 ｲﾀﾘｱ語1 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1	ドイツ語(konzertfach)2 英語2 ｲﾀﾘｱ語2 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2	ｳｨｰﾝの社会と文化A ドイツ語(konzertfach)3〔異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを含む〕 英語3 ｲﾀﾘｱ語3 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3	ｳｨｰﾝの社会と文化B ドイツ語(konzertfach)4〔異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを含む〕 英語4 ｲﾀﾘｱ語4 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4	ドイツ語(konzertfach)5	ドイツ語(konzertfach)6	ドイツ語(konzertfach)7	ドイツ語(konzertfach)8
共通専門教育科目	和声学(konzertfach)1 音楽の基礎理論(konzertfach)A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学(konzertfach)2 音楽の基礎理論(konzertfach)B 民族音楽学B 音楽史B	和声学(konzertfach)3 ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修⇧	和声学(konzertfach)4	対位法(konzertfach)A 楽式論A （作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸA （作曲法・編曲法を含む）	対位法(konzertfach)B 楽式論B （作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸB （作曲法・編曲法を含む）		
共通専門教育科目			作品研究〔オペラ〕A(声楽専門生のみ必修)	作品研究〔オペラ〕B(声楽専門生のみ必修)	作品研究〔歌曲〕A(声楽専門生のみ必修)	作品研究〔歌曲〕B(声楽専門生のみ必修)		
共通専門教育科目	作品研究〔楽曲分析〕(Konzertfach)ⅠA	作品研究〔楽曲分析〕(Konzertfach)ⅠB	作品研究〔様式学〕(Konzertfach)ⅠA ピアノ・管弦打楽器専門生のみ必修⇧	作品研究〔様式学〕(Konzertfach)ⅠB	作品研究〔楽曲分析〕(Konzertfach)ⅡA	作品研究〔楽曲分析〕(Konzertfach)ⅡB	作品研究〔様式学〕(Konzertfach)ⅡA	作品研究〔様式学〕(Konzertfach)ⅡB
共通専門教育科目	共通専門科目（講義系）指揮法／音楽文化論A・B(R7年度は未開講)／日本音楽史概説A・B／音楽音響メディア論A・B／日本の伝統音楽概論A・B／音楽療法的音楽論(R6年度入学生まで履修可)／日本と世界のポピュラー音楽(R7年度以降入学生より履修可)(R7年度は未開講)／音楽心理学A・B／作品研究〔鍵盤〕A・B／作品研究〔管弦楽〕A・B／アジア音楽文化論(R7年度は未開講)／音楽と仕事(令和7年度は未開講)							
音楽専門教育科目 konzertfach専攻科目	konzertfach専門実技 1 Vo・Pf・管弦打	konzertfach専門実技 2 Vo・Pf・管弦打	konzertfach専門実技 3 Vo・Pf・管弦打	konzertfach専門実技 4 Vo・Pf・管弦打	konzertfach専門実技 5 Vo・Pf・管弦打	konzertfach専門実技 6 Vo・Pf・管弦打	konzertfach専門実技 7 Vo・Pf・管弦打	konzertfach専門実技 8 Vo・Pf・管弦打
音楽専門教育科目 konzertfach専攻科目	ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ(Konzertfach)1（ウィーン研修）	ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ(Konzertfach)2（ウィーン研修）	ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ(Konzertfach)3（ウィーン研修）	ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ(Konzertfach)4（ウィーン研修）	ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ(Konzertfach)5（ウィーン研修）	ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ(Konzertfach)6（ウィーン研修）	ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ(Konzertfach)7（ウィーン研修）	ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾙ(Konzertfach)8（ウィーン研修）
音楽専門教育科目 konzertfach専攻科目	合唱ⅠA	合唱ⅠB	合唱ⅡA	合唱ⅡB	合唱ⅢA（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅢB（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅣA	合唱ⅣB
音楽専門教育科目 konzertfach専攻科目					合奏A（和楽器を含む）	合奏B（和楽器を含む）		
音楽専門教育科目 konzertfach専攻科目	⇩ピアノ専門生以外は2年次生より履修可 教材伴奏法ⅠA	教材伴奏法ⅠB	教材伴奏法ⅡA	教材伴奏法ⅡB				
音楽専門教育科目 konzertfach専攻科目	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ1	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ2	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ3	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ4	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰA	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰB 学内演奏	卒業演奏	
音楽専門教育科目 konzertfach専攻科目	ピアノ専門生履修不可⇩ 副科ピアノⅠA	副科ピアノⅠB	声楽専門生履修不可⇨ 副科声楽ⅠA 副科ピアノⅡA	副科声楽ⅠB 副科ピアノⅡB	副科声楽ⅡA	副科声楽ⅡB		
音楽専門教育科目 声楽	朗読法(ｲﾀﾘｱ語)(Konzertfach)ⅠA 声作り(ｼｭﾃｨﾑﾋﾞﾙﾄﾞｳﾝｸﾞ)(Konzertfach)ⅠA(Voのみ)	朗読法(ｲﾀﾘｱ語)(Konzertfach)ⅠB 声作り(ｼｭﾃｨﾑﾋﾞﾙﾄﾞｳﾝｸﾞ)(Konzertfach)ⅠB(Voのみ)	朗読法(ﾄﾞｲﾂ語)(Konzertfach)ⅡA 声作り(ｼｭﾃｨﾑﾋﾞﾙﾄﾞｳﾝｸﾞ)(Konzertfach)ⅡA(Voのみ)	朗読法(ﾄﾞｲﾂ語)(Konzertfach)ⅡB 声作り(ｼｭﾃｨﾑﾋﾞﾙﾄﾞｳﾝｸﾞ)(Konzertfach)ⅡB(Voのみ)	ｵﾍﾟﾗ研究ⅠA	ｵﾍﾟﾗ研究ⅠB	ｵﾍﾟﾗ研究ⅡA	ｵﾍﾟﾗ研究ⅡB
音楽専門教育科目 ピアノ	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B	ﾋﾟｱﾉｱﾝｻﾝﾌﾞﾙA ピアノ伴奏法ⅠA	ﾋﾟｱﾉｱﾝｻﾝﾌﾞﾙB ピアノ伴奏法ⅠB	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅠA ピアノ伴奏法ⅡA	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅠB ピアノ伴奏法ⅡB	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅡA	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅡB
音楽専門教育科目 管弦打	室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス
音楽専門教育科目 管弦打	ｵｰｹｽﾄﾗⅠA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠA	ｵｰｹｽﾄﾗⅠB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠB	ｵｰｹｽﾄﾗⅡA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡA	ｵｰｹｽﾄﾗⅡB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡB	ｵｰｹｽﾄﾗⅢA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅢA	ｵｰｹｽﾄﾗⅢB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅢB	ｵｰｹｽﾄﾗⅣA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅣA	ｵｰｹｽﾄﾗⅣB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅣB
留学生科目	日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4	日本事情ⅢA 日本語5	日本事情ⅢB 日本語6	日本事情ⅣA 日本語7	日本事情ⅣB 日本語8
留学生科目							演奏演習	
人間教育科目	ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4	
人間教育科目			ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅠ（R6年度入学生まで履修可）		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅡ（R6年度入学生まで履修可）			
人間教育科目			キャリア実践（R7年度以降入学生より履修可）		インターンシップ（R7年度以降入学生より履修可）			
人間教育科目	地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅠA・ⅠB							
人間教育科目			地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅡA・ⅡB					
人間教育科目			地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅠA・ⅠB					
人間教育科目					地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅡA・ⅡB			
文化教養科目			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠB	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡB		
教職課程	教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習	教職実践演習（中・高）
課外講座			キャリアガイダンス特別講座			教員採用試験受験特別講座		

教職課程履修者は［　　］～内の科目は必修

令和7年度　東邦音楽大学　音楽学部　音楽学科【音楽療法専攻】カリキュラムツリー（履修系統図）

カリキュラムポリシー

- 知識・技能：教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
- 知識・技能：広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
- 知識・技能：専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
- 知識・技能：高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。
- 思考力・判断力・表現力：専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
- 思考力・判断力・表現力：知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。
- 意欲・関心・志向性：国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
- 意欲・関心・志向性：身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

ディプロマポリシー

- 知識・技能：多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
- 知識・技能：専攻分野を中心とした知識と技能
- 知識・技能：国際的な視野に立った広範な文化の理解
- 思考力・判断力・表現力：現代社会に必要とされるコミュニケーション能力
- 思考力・判断力・表現力：体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
- 思考力・判断力・表現力：自己発信のプレゼンテーション能力
- 意欲・関心・志向性：専門分野を超えて問題を探求する姿勢
- 意欲・関心・志向性：国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲
- 意欲・関心・志向性：自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）
- 意欲・関心・志向性：生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）
- 意欲・関心・志向性：多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）

音楽療法や関連領域の専門的知識を修得し、実践や研究を行うことができる。

- ・多岐にわたる音楽ジャンルに関する幅広い知識を有し、伴奏楽器で適切に表現することができる。
- ・音楽療法の実践に必要な専門的知識を有し、創造的に表現することができる。
- ・音楽療法の理論や技法等、及び関連する領域の幅広い専門的知識を有し、それを活用して実践することができる。

建学の精神・教育の理念【音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする】

科目の区分	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
基礎教育科目	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅢA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅢB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅣA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅣB
基礎教育科目	全学共通科目（講義・演習系） **〔人間探究〕**哲学A・B（※令和7年度は未開講）/文化芸術論A・B/ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論**〔社会的視点〕**日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論〔老人・児童福祉を含む〕A・B**〔自然理解〕**ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学〔発達心理を含む〕A・B/ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ演習A・B							
基礎教育科目	ｽﾎﾟｰﾂ演習	ｽﾎﾟｰﾂ文化論						
外国の言語と文化	ﾄﾞｲﾂ語1 英語1 ｲﾀﾘｱ語1 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1	ﾄﾞｲﾂ語2 英語2 ｲﾀﾘｱ語2 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2	ｳｨｰﾝの社会と文化A（R7年度入学生より選択） ﾄﾞｲﾂ語3 英語3 ｲﾀﾘｱ語3 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3	ｳｨｰﾝの社会と文化B（R7年度入学生より選択） ﾄﾞｲﾂ語4 英語4 ｲﾀﾘｱ語4 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4				
共通専門教育科目	和声学1 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4	対位法A 楽式論A（作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸA（作曲法・編曲法を含む）	対位法B 楽式論B（作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸB（作曲法・編曲法を含む）		
共通専門教育科目	共通専門科目（講義系） 指揮法（R6年度入学生まで必修）／音楽文化論A・B（R7年度は未開講）／日本音楽史概説A・B／音楽音響メディア論A・B／日本の伝統音楽概論A・B／音楽療法的音楽論（R6年度入学生まで履修可）／日本と世界のポピュラー音楽（R7年度入学生より履修可）（R7年度は未開講）／音楽心理学A・B／現代音楽教師論（R7年度は未開講）／作品研究〔鍵盤〕A・B／作品研究〔管弦楽〕A・B／作品研究〔オペラ〕A・B／作品研究〔歌曲〕A・B／アジア音楽文化論（R7年度は未開講）／音楽と仕事（令和7年度は未開講）							
音楽療法専攻科目	音楽療法 1	音楽療法 2	音楽療法 3	音楽療法 4	音楽療法 5（実習を含む）	音楽療法 6（実習を含む）	音楽療法 7（実習を含む）	音楽療法 8（実習を含む）
音楽療法専攻科目					音楽療法実習Ⅰ	音楽療法実習Ⅱ	音楽療法実習Ⅲ	音楽療法実習Ⅳ
音楽療法専攻科目	合唱ⅠA	合唱ⅠB	合唱ⅡA	合唱ⅡB	合唱ⅢA（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅢB（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅣA	合唱ⅣB
音楽療法専攻科目	副科ピアノⅠA 副科管弦打楽器ⅠA	副科ピアノⅠB 副科管弦打楽器ⅠB	副科声楽ⅠA 副科ピアノⅡA 副科管弦打楽器ⅡA	副科声楽ⅠB 副科ピアノⅡB 副科管弦打楽器ⅡB	副科声楽ⅡA 副科ピアノⅢA	副科声楽ⅡB 副科ピアノⅢB	副科ピアノⅣA	副科ピアノⅣB
音楽療法専攻科目	室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス				
音楽療法専攻科目	ギター（R7年度入学生より履修可） コミュニケーション技能Ⅰ（R7年度入学生より履修可）	音楽教育学（R7年度入学生より履修可） コミュニケーション技能Ⅱ（R7年度入学生より履修可）	音楽療法の理論と技法A（R6年度入学生まで履修可） 音楽療法の諸理論（R7年度入学生より履修可）	音楽療法の理論と技法B（R6年度入学生まで履修可） 音楽療法の研究（R7年度入学生より履修可）	音楽療法各論（児童）（精神科）（高齢者）			
音楽療法専攻科目			人間と医療ⅠA	人間と医療ⅠB	人間と医療ⅡA 障害学A（R6年度入学生まで履修可） 特別支援教育A（R7年度入学生まで履修可） 臨床心理学ⅠA	人間と医療ⅡB 障害学B（R6年度入学生まで履修可） 特別支援教育B（R7年度入学生まで履修可） 臨床心理学ⅠB	臨床心理学Ⅱ	
音楽療法専攻科目			教材伴奏法ⅠA	教材伴奏法ⅠB	合奏A（和楽器を含む） 教材伴奏法ⅡA	合奏B（和楽器を含む） 教材伴奏法ⅡB		
音楽療法専攻科目	ｵｰｹｽﾄﾗⅠA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠA	ｵｰｹｽﾄﾗⅠB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠB	ｵｰｹｽﾄﾗⅡA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡA	ｵｰｹｽﾄﾗⅡB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡB				
音楽療法専攻科目	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B						
音楽療法専攻科目	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ1	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ2	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ3	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ4	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰA 学内実習発表	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰB	卒業研究発表	
留学生科目	日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4	日本事情ⅢA 日本語5	日本事情ⅢB 日本語6	日本事情ⅣA 日本語7	日本事情ⅣB 日本語8
人間教育科目					ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰ（ｳｨｰﾝ研修）（R7年度入学生より履修不可）		演奏演習	
人間教育科目	ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4	
人間教育科目			ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅠ（R6年度入学生まで履修可）		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅡ（R6年度入学生まで履修可）			
人間教育科目			キャリア実践（R7年度以降入学生より履修可）		インターンシップ（R7年度以降入学生より履修可）			
人間教育科目	地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅠA・ⅠB							
人間教育科目			地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅡA・ⅡB					
人間教育科目			地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅠA・ⅠB					
人間教育科目					地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅡA・ⅡB			
文化教養科目			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠB	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡB		

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

教職課程履修者は〜内の科目は必修

教職課程	教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習	教職実践演習（中・高）
課外講座			キャリアガイダンス特別講座			教員採用試験受験特別講座		

令和7年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科 【音楽創造専攻】 カリキュラムツリー(履修系統図)

カリキュラムポリシー

知識・技能
- 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
- 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
- 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
- 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
- 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
- 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
- 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
- 身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

科目の区分

科目の区分	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
基礎教育科目	スタンダードⅠA	スタンダードⅠB	スタンダードⅡA	スタンダードⅡB	スタンダードⅢA	スタンダードⅢB	スタンダードⅣA	スタンダードⅣB
基礎教育科目	全学共通科目(講義・演習系) (人間探究)哲学A・B(※令和7年度は未開講)/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論〔老人・児童福祉を含む〕A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学〔発達心理を含む〕A・B/コンピュータ演習A・B							
基礎教育科目	スポーツ演習	スポーツ文化論						
外国の言語と文化			ウィーンの社会と文化A	ウィーンの社会と文化B				
外国の言語と文化	ドイツ語1 英語1 イタリア語1 ドイツ語圏異文化コミュニケーション1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリア語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語2 英語2 イタリア語2 ドイツ語圏異文化コミュニケーション2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリア語圏異文化コミュニケーション2	ドイツ語3 英語3 イタリア語3 ドイツ語圏異文化コミュニケーション3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリア語圏異文化コミュニケーション3	ドイツ語4 英語4 イタリア語4 ドイツ語圏異文化コミュニケーション4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリア語圏異文化コミュニケーション4				
音楽専門教育科目 共通専門教育科目	和声学1 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4	対位法A 楽式論A(作曲法・編曲法を含む) ポピュラーミュージックA(作曲法・編曲法を含む)	対位法B 楽式論B(作曲法・編曲法を含む) ポピュラーミュージックB(作曲法・編曲法を含む)		
音楽専門教育科目 共通専門教育科目	共通専門科目(講義系) 指揮法/音楽文化論A・B(R7年度は未開講)/日本音楽史概説A・B/音楽音響メディア論A・B/日本の伝統音楽概論A・B/音楽療法的音楽論(R6年度入学生まで履修可)/日本と世界のポピュラー音楽(R7年度以降入学生より履修可)(R7年度は未開講)/音楽心理学A・B/現代音楽教師論(令和7年度は未開講)作品研究〔鍵盤〕A・B/作品研究〔管弦楽〕A・B/作品研究〔オペラ〕A・B/作品研究〔歌曲〕A・B/アジア音楽文化論(R7年度は未開講)/音楽と仕事(令和7年度は未開講)							
音楽創造専攻科目	作曲 1	作曲 2	作曲 3	作曲 4	作曲 5	作曲 6	作曲 7	作曲 8
音楽創造専攻科目	合唱ⅠA	合唱ⅠB	合唱ⅡA	合唱ⅡB	合唱ⅢA(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む)	合唱ⅢB(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む)	合唱ⅣA	合唱ⅣB
音楽創造専攻科目			副科声楽ⅠA	副科声楽ⅠB	副科声楽ⅡA	副科声楽ⅡB		
音楽創造専攻科目	副科ピアノⅠA 副科管弦打楽器ⅠA	副科ピアノⅠB 副科管弦打楽器ⅠB	副科ピアノⅡA 副科管弦打楽器ⅡA	副科ピアノⅡB 副科管弦打楽器ⅡB	副科ピアノⅢA 副科管弦打楽器ⅢA	副科ピアノⅢB 副科管弦打楽器ⅢB	副科ピアノⅣA 副科管弦打楽器ⅣA	副科ピアノⅣB 副科管弦打楽器ⅣB
音楽創造専攻科目	室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス				
音楽創造専攻科目	総合作曲演習ⅠA・B/総合作曲演習ⅡA・B/総合作曲演習ⅢA・B(2単位選択必修)							
音楽創造専攻科目	ソフトウェア演習ⅠA	ソフトウェア演習ⅠB	ソフトウェア演習ⅡA	ソフトウェア演習ⅡB	ソフトウェア演習ⅢA	ソフトウェア演習ⅢB		
音楽創造専攻科目					合奏A(和楽器を含む)	合奏B(和楽器を含む)		
音楽創造専攻科目			教材伴奏法ⅠA	教材伴奏法ⅠB	教材伴奏法ⅡA	教材伴奏法ⅡB		
音楽創造専攻科目	オーケストラⅠA ウインドオーケストラⅠA	オーケストラⅠB ウインドオーケストラⅠB	オーケストラⅡA ウインドオーケストラⅡA	オーケストラⅡB ウインドオーケストラⅡB				
音楽創造専攻科目					ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B		
音楽創造専攻科目	ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	キーボードハーモニーA	キーボードハーモニーB		
音楽創造専攻科目						学内作品発表		卒業作品発表
留学生科目	日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4	日本事情ⅢA 日本語5	日本事情ⅢB 日本語6	日本事情ⅣA 日本語7	日本事情ⅣB 日本語8
人間教育科目					ウィーンアカデミー(ウィーン研修)		演奏演習	
人間教育科目	ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2		ヒューマンコミュニケーション3		ヒューマンコミュニケーション4	
人間教育科目			インターンシップⅠ(R6年度入学生まで履修可)		インターンシップⅡ(R6年度入学生まで履修可)			
人間教育科目			キャリア実践(R7年度以降入学生より履修可)		インターンシップ(R7年度以降入学生より履修可)			
人間教育科目	地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅠA・ⅠB							
人間教育科目			地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅡA・ⅡB					
人間教育科目			地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅠA・ⅠB					
人間教育科目					地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅡA・ⅡB			

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

教職課程履修者は［ ］～内の科目は必修

区分	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
教職課程	教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む) 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習	教職実践演習(中・高)
課外講座			キャリアガイダンス特別講座			教員採用試験受験特別講座		

ディプロマポリシー

知識・技能
- 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
- 専攻分野を中心とした知識と技能
- 国際的な視野に立った広範な文化の理解

専門分野である音楽創造に関する専門的知識・技能を修得し、自らの音楽を創造することができる。
- ・西洋音楽史における作曲技法を理解し、実践に活かすことができる。
- ・クラシック音楽の作曲技法を基礎に、ジャズ・ポップス技法や民族音楽等も理解し、自らが描きたい音楽を創造することができる。
- ・創作の具体的なヴィジョンを楽譜として定着させること、及びハイレヴェルな音源を作成することができる。

思考力・判断力・表現力
- 現代社会に必要とされるコミュニケーション能力
- 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力
- 自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性
- 専門分野を超えて問題を探求する姿勢
- 国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲
- 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
- 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
- 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念【音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする】

令和7年度　東邦音楽大学　音楽学部　音楽学科 【管弦打専攻】 カリキュラムツリー（履修系統図）

カリキュラムポリシー

知識・技能

教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。

専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。

高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力

専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性

国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

科目の区分

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
スタンダードⅠA	スタンダードⅠB	スタンダードⅡA	スタンダードⅡB	スタンダードⅢA	スタンダードⅢB	スタンダードⅣA	スタンダードⅣB

基礎教育科目

全学共通科目（講義・演習系）
（人間探究）哲学A・B（※令和7年度は未開講）/文化芸術論A・B/コミュニケーション論（社会的視点）日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論〔老人・児童福祉を含む〕A・B（自然理解）ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学〔発達心理を含む〕A・B/コンピュータ演習A・B

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
スポーツ演習	スポーツ文化論						

外国の言語と文化

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
		ウィーンの社会と文化A	ウィーンの社会と文化B				
ドイツ語1 英語1 イタリア語1 ドイツ語圏異文化コミュニケーション1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリア語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語2 英語2 イタリア語2 ドイツ語圏異文化コミュニケーション2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリア語圏異文化コミュニケーション2	ドイツ語3 英語3 イタリア語3 ドイツ語圏異文化コミュニケーション3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリア語圏異文化コミュニケーション3	ドイツ語4 英語4 イタリア語4 ドイツ語圏異文化コミュニケーション4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリア語圏異文化コミュニケーション4				

赤字　必修科目
青字　選択必修科目
黒字　選択科目

音楽専門教育科目

共通専門教育科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
和声学1 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4	対位法A 楽式論A （作曲法・編曲法を含む） ポピュラーミュージックA（作曲法・編曲法を含む）	対位法B 楽式論B （作曲法・編曲法を含む） ポピュラーミュージックB（作曲法・編曲法を含む）		

共通専門科目（講義系）
指揮法／音楽文化論A・B（R7年度は未開講）／日本音楽史概説A・B／音楽音響メディア論A・B／日本の伝統音楽概論A・B／音楽療法的音楽論（R6年度入学生まで履修可）／日本と世界のポピュラー音楽（R7年度以降入学生より履修可）（R7年度は未開講）／音楽心理学A・B／現代音楽教師論（令和7年度は未開講）作品研究〔鍵盤〕A・B／作品研究〔管弦楽〕A・B／作品研究〔オペラ〕A・B／作品研究〔歌曲〕A・B／アジア音楽文化論（R7年度は未開講）／音楽と仕事（令和7年度は未開講）

管弦打専攻科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
管弦打楽器 1	管弦打楽器 2	管弦打楽器 3	管弦打楽器 4	管弦打楽器 5	管弦打楽器 6	管弦打楽器 7	管弦打楽器 8
合唱ⅠA	合唱ⅠB	合唱ⅡA	合唱ⅡB	合唱ⅢA（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅢB（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅣA	合唱ⅣB
		副科声楽ⅠA	副科声楽ⅠB	副科声楽ⅡA	副科声楽ⅡB		
副科ピアノⅠA	副科ピアノⅠB	副科ピアノⅡA	副科ピアノⅡB	副科ピアノⅢA	副科ピアノⅢB	副科ピアノⅣA	副科ピアノⅣB
室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス
オーケストラ・ウィンドオーケストラのための合奏ベーシックⅠA	オーケストラ・ウィンドオーケストラのための合奏ベーシックⅠB	オーケストラ・ウィンドオーケストラのための合奏ベーシックⅡA	オーケストラ・ウィンドオーケストラのための合奏ベーシックⅡB	オーケストラ・ウィンドオーケストラのための合奏ベーシックⅢA	オーケストラ・ウィンドオーケストラのための合奏ベーシックⅢB	オーケストラ・ウィンドオーケストラのための合奏ベーシックⅣA	オーケストラ・ウィンドオーケストラのための合奏ベーシックⅣB
		教材伴奏法ⅠA	教材伴奏法ⅠB	合奏A（和楽器を含む） 教材伴奏法ⅡA	合奏B（和楽器を含む） 教材伴奏法ⅡB		
オーケストラⅠA ウインドオーケストラⅠA	オーケストラⅠB ウインドオーケストラⅠB	オーケストラⅡA ウインドオーケストラⅡA	オーケストラⅡB ウインドオーケストラⅡB	オーケストラⅢA ウインドオーケストラⅢA	オーケストラⅢB ウインドオーケストラⅢB	オーケストラⅣA ウインドオーケストラⅣA	オーケストラⅣB ウインドオーケストラⅣB
				ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B		
ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	キーボードハーモニーA	キーボードハーモニーB 学内演奏	卒業演奏	

留学生科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4	日本事情ⅢA 日本語5	日本事情ⅢB 日本語6	日本事情ⅣA 日本語7	日本事情ⅣB 日本語8
				ウィーンアカデミー（ウィーン研修）		演奏演習	

人間教育科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2		ヒューマンコミュニケーション3		ヒューマンコミュニケーション4	
		インターンシップⅠ（R6年度入学生まで履修可）		インターンシップⅡ（R6年度入学生まで履修可）			
		キャリア実践（R7年度以降入学生より履修可）		インターンシップ（R7年度以降入学生より履修可）			

地域創造①（地域貢献として、オーケストラ等の指導）ⅠA・ⅠB
地域創造①（地域貢献として、オーケストラ等の指導）ⅡA・ⅡB
地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅠA・ⅠB
地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅡA・ⅡB

文化教養科目

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
		コンピュータミュージック演習ⅠA	コンピュータミュージック演習ⅠB	コンピュータミュージック演習ⅡA	コンピュータミュージック演習ⅡB		

ディプロマポリシー

知識・技能

多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

専攻分野を中心とした知識と技能

国際的な視野に立った広範な文化の理解

専門分野である管弦打楽器に関する、専門的知識・技能を修得し、多様な音楽表現ができる。

- 管弦打楽器の音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式に沿った演奏ができる。
- 専攻楽器に関する専門知識・技能を修得し、ソロ、オーケストラ等の実践に活かすことができる。
- 専門以外の楽器の特性や他領域にも視野を拡げて演奏に活かすことができる。

思考力・判断力・表現力

現代社会に必要とされるコミュニケーション能力

体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

自己発信のプレゼンテーション能力

意欲・関心・志向性

専門分野を超えて問題を探求する姿勢

国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲

自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）

生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）

多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）

建学の精神・教育の理念【音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする】

教職課程履修者は
～内の科目は必修

教職課程

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習	教職実践演習（中・高）

課外講座

教員採用試験受験特別講座

キャリアガイダンス特別講座

令和7年度　東邦音楽大学　音楽学部　音楽学科【声楽専攻】カリキュラムツリー（履修系統図）

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー	知識・技能	教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
		広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
		専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
		高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。
	思考力・判断力・表現力	専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
		知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。
	意欲・関心・志向性	国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
		身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

履修系統図

科目の区分	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
基礎教育科目	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅢA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅢB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅣA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅣB
基礎教育科目	ｽﾎﾟｰﾂ演習	ｽﾎﾟｰﾂ文化論						
基礎教育科目（外国の言語と文化）			ｳｨｰﾝの社会と文化A	ｳｨｰﾝの社会と文化B				
基礎教育科目（外国の言語と文化）	ﾄﾞｲﾂ語1 英語1 ｲﾀﾘｱ語1 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1	ﾄﾞｲﾂ語2 英語2 ｲﾀﾘｱ語2 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2	ﾄﾞｲﾂ語3 英語3 ｲﾀﾘｱ語3 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3	ﾄﾞｲﾂ語4 英語4 ｲﾀﾘｱ語4 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4				
音楽専門教育科目（共通専門教育科目）	和声学1 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4	対位法A 楽式論A（作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸA（作曲法・編曲法を含む）	対位法B 楽式論B（作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸB（作曲法・編曲法を含む）		
音楽専門教育科目（声楽専攻科目）	声楽 1	声楽 2	声楽 3	声楽 4	声楽 5	声楽 6	声楽 7	声楽 8
音楽専門教育科目（声楽専攻科目）	合唱ⅠA	合唱ⅠB	合唱ⅡA	合唱ⅡB	合唱ⅢA（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅢB（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅣA	合唱ⅣB
音楽専門教育科目（声楽専攻科目）	副科ピアノⅠA 副科管弦打楽器ⅠA	副科ピアノⅠB 副科管弦打楽器ⅠB	副科ピアノⅡA 副科管弦打楽器ⅡA	副科ピアノⅡB 副科管弦打楽器ⅡB	副科ピアノⅢA 副科管弦打楽器ⅢA	副科ピアノⅢB 副科管弦打楽器ⅢB	副科ピアノⅣA 副科管弦打楽器ⅣA	副科ピアノⅣB 副科管弦打楽器ⅣB
音楽専門教育科目（声楽専攻科目）	室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス 合奏A（和楽器を含む）	室内楽ⅢB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス 合奏B（和楽器を含む）	室内楽ⅣA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス
音楽専門教育科目（声楽専攻科目）			朗読法A〔ﾄﾞｲﾂ語〕 教材伴奏法ⅠA	朗読法B〔ｲﾀﾘｱ語〕 教材伴奏法ⅠB	ｵﾍﾟﾗ研究ⅠA 教材伴奏法ⅡA	ｵﾍﾟﾗ研究ⅠB 教材伴奏法ⅡB	ｵﾍﾟﾗ研究ⅡA	ｵﾍﾟﾗ研究ⅡB
音楽専門教育科目（声楽専攻科目）	ｵｰｹｽﾄﾗⅠA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠA	ｵｰｹｽﾄﾗⅠB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠB	ｵｰｹｽﾄﾗⅡA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡA	ｵｰｹｽﾄﾗⅡB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡB	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B		
音楽専門教育科目（声楽専攻科目）	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ1	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ2	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ3	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ4	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰA	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰB 学内演奏		卒業演奏
留学生科目	日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4	日本事情ⅢA 日本語5	日本事情ⅢB 日本語6	日本事情ⅣA 日本語7	日本事情ⅣB 日本語8
人間教育科目					ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰ（ｳｨｰﾝ研修）		演奏演習	
人間教育科目	ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅠ（R6年度入学生まで履修可） キャリア実践（R7年度以降入学生より履修可）		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅡ（R6年度入学生まで履修可） インターンシップ（R7年度以降入学生より履修可）		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4	
人間教育科目	地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅠA・ⅠB							
人間教育科目			地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅡA・ⅡB					
人間教育科目			地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅠA・ⅠB					
人間教育科目					地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅡA・ⅡB			
文化教養科目			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠB	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡB		

全学共通科目（講義・演習系）
(人間探究)哲学A・B（※令和7年度は未開講）/文化芸術論A・B/ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論〔老人・児童福祉を含む〕A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学〔発達心理を含む〕A・B/ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ演習A・B

共通専門科目（講義系）
指揮法／音楽文化論A・B（R7年度は未開講）／日本音楽史概説A・B／音楽音響メディア論A・B／日本の伝統音楽概論A・B／音楽療法的音楽論（R6年度入学生まで履修可）／日本と世界のポピュラー音楽（R7年度以降入学生より履修可）（R7年度は未開講）／音楽心理学A・B／現代音楽教師論（令和7年度は未開講）作品研究〔鍵盤〕A・B／作品研究〔管弦楽〕A・B／作品研究〔オペラ〕A・B／作品研究〔歌曲〕A・B／アジア音楽文化論（R7年度は未開講）／音楽と仕事（令和7年度は未開講）

教職課程

教職課程履修者は［　　］～内の科目は必修

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
教職課程	教職入門 教育学概説 教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法 生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 音楽科教材研究A 総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習 教職実践演習（中・高）
課外講座		キャリアガイダンス特別講座	教員採用試験受験特別講座	

ディプロマポリシー

知識・技能	多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力	専門分野である声楽に関する、専門的知識・技能を修得し、声楽の特徴である言葉を伴う音楽表現に必要な知識・技術を身につけ表現することができる。 ・声楽の基本技術を身につけ、実践することができる。 ・声楽の多様な形態における言語や知識を身につけ、歴史的背景を踏まえた演奏ができる。 ・専門領域以外にも視野を拡げて演奏に活かすことができる。
	専攻分野を中心とした知識と技能	
	国際的な視野に立った広範な文化の理解	
思考力・判断力・表現力	現代社会に必要とされるコミュニケーション能力	
	体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力	
	自己発信のプレゼンテーション能力	
意欲・関心・志向性	専門分野を超えて問題を探求する姿勢	
	国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲	
	自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）	
	生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）	
	多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）	

建学の精神・教育の理念【音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする】

令和7年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科 【ピアノ専攻】 カリキュラムツリー（履修系統図）

科目の区分	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
基礎教育科目	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅠB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅡB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅢA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅢB	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅣA	ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞⅣB
基礎教育科目	全学共通科目（講義・演習系） **(人間探究)**哲学A・B（※令和7年度は未開講）/文化芸術論A・B/ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論**(社会的視点)**日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論〔老人・児童福祉を含む〕A・B**(自然理解)**ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学〔発達心理を含む〕A・B/ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ演習A・B							
基礎教育科目	ｽﾎﾟｰﾂ演習	ｽﾎﾟｰﾂ文化論						
外国の言語と文化			ｳｨｰﾝの社会と文化A	ｳｨｰﾝの社会と文化B				
外国の言語と文化	ﾄﾞｲﾂ語1 英語1 ｲﾀﾘｱ語1 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1	ﾄﾞｲﾂ語2 英語2 ｲﾀﾘｱ語2 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2	ﾄﾞｲﾂ語3 英語3 ｲﾀﾘｱ語3 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3	ﾄﾞｲﾂ語4 英語4 ｲﾀﾘｱ語4 ﾄﾞｲﾂ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4 英語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4 ｲﾀﾘｱ語圏異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4				
音楽専門教育科目 共通専門教育科目	和声学1 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4	対位法A 楽式論A（作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸA（作曲法・編曲法を含む）	対位法B 楽式論B（作曲法・編曲法を含む） ﾎﾟﾋﾟｭﾗｰﾐｭｰｼﾞｯｸB（作曲法・編曲法を含む）		
音楽専門教育科目 共通専門教育科目	共通専門科目（講義系） 指揮法／音楽文化論A・B（R7年度は未開講）／日本音楽史概説A・B／音楽音響メディア論A・B／日本の伝統音楽概論A・B／音楽療法的音楽論（R6年度入学生まで履修可）／日本と世界のポピュラー音楽（R7年度以降入学生より履修可）（R7年度は未開講）／音楽心理学A・B／現代音楽教師論（令和7年度は未開講）作品研究〔鍵盤〕A・B／作品研究〔管弦楽〕A・B／作品研究〔オペラ〕A・B／作品研究〔歌曲〕A・B／アジア音楽文化論（R7年度は未開講）／音楽と仕事（令和7年度は未開講）							
音楽専門教育科目 ピアノ専攻科目	ピアノ 1	ピアノ 2	ピアノ 3	ピアノ 4	ピアノ 5	ピアノ 6	ピアノ 7	ピアノ 8
音楽専門教育科目 ピアノ専攻科目	合唱ⅠA	合唱ⅠB	合唱ⅡA	合唱ⅡB	合唱ⅢA（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅢB（歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む）	合唱ⅣA	合唱ⅣB
音楽専門教育科目 ピアノ専攻科目	副科管弦打楽器ⅠA	副科管弦打楽器ⅠB	副科声楽ⅠA 副科管弦打楽器ⅡA	副科声楽ⅠB 副科管弦打楽器ⅡB	副科声楽ⅡA 副科管弦打楽器ⅢA	副科声楽ⅡB 副科管弦打楽器ⅢB	副科管弦打楽器ⅣA	副科管弦打楽器ⅣB
音楽専門教育科目 ピアノ専攻科目	室内楽ⅠA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅠB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅡB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅢA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス 合奏A（和楽器を含む）	室内楽ⅢB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス 合奏B（和楽器を含む）	室内楽ⅣA 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス	室内楽ⅣB 木管楽器クラス/金管楽器クラス 打楽器クラス/弦楽器クラス
音楽専門教育科目 ピアノ専攻科目	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A 教材伴奏法ⅠA	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B 教材伴奏法ⅠB	ﾋﾟｱﾉｱﾝｻﾝﾌﾞﾙA ピアノ伴奏法ⅠA 教材伴奏法ⅡA	ﾋﾟｱﾉｱﾝｻﾝﾌﾞﾙB ピアノ伴奏法ⅠB 教材伴奏法ⅡB	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅠA ピアノ伴奏法ⅡA	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅠB ピアノ伴奏法ⅡB	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅡA	ﾁｪﾝﾊﾞﾛ研究ⅡB
音楽専門教育科目 ピアノ専攻科目	ｵｰｹｽﾄﾗⅠA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠA	ｵｰｹｽﾄﾗⅠB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅠB	ｵｰｹｽﾄﾗⅡA ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡA	ｵｰｹｽﾄﾗⅡB ｳｲﾝﾄﾞｵｰｹｽﾄﾗⅡB				
音楽専門教育科目 ピアノ専攻科目	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ1	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ2	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ3	ｿﾙﾌｪｰｼﾞｭ4	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰA	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾊｰﾓﾆｰB 学内演奏		卒業演奏
留学生科目	日本事情ⅠA 日本語1	日本事情ⅠB 日本語2	日本事情ⅡA 日本語3	日本事情ⅡB 日本語4	日本事情ⅢA 日本語5	日本事情ⅢB 日本語6	日本事情ⅣA 日本語7	日本事情ⅣB 日本語8
人間教育科目					ｳｨｰﾝｱｶﾃﾞﾐｰ（ｳｨｰﾝ研修）		演奏演習	
人間教育科目	ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ3		ﾋｭｰﾏﾝｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ4	
人間教育科目			ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅠ（R6年度入学生まで履修可）		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅡ（R6年度入学生まで履修可）			
人間教育科目			キャリア実践（R7年度以降入学生より履修可）		インターンシップ（R7年度以降入学生より履修可）			
人間教育科目	地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅠA・ⅠB							
人間教育科目			地域創造①（地域貢献として、ｵｰｹｽﾄﾗ等の指導）ⅡA・ⅡB					
人間教育科目			地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅠA・ⅠB					
人間教育科目					地域創造②（地域の学校等の授業等補助）ⅡA・ⅡB			
文化教養科目			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅠB	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡA	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾐｭｰｼﾞｯｸ演習ⅡB		

赤字	必修科目
青字	選択必修科目
黒字	選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能	教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
知識・技能	広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
知識・技能	専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。
知識・技能	高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。
思考力・判断力・表現力	専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
思考力・判断力・表現力	知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。
意欲・関心・志向性	国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
意欲・関心・志向性	身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

ディプロマポリシー

知識・技能	多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力	専門分野であるピアノ演奏において、専門的知識・技能を修得し、自らの演奏スタイルを確率することができる。 ・鍵盤音楽の歴史や理論を体系的に理解し、時代様式に沿った演奏ができる。 ・多彩な演奏技術を身に付け表現することができる。 ・専門領域以外にも視野を拡げて演奏に活かすことができる。
知識・技能	専攻分野を中心とした知識と技能	
知識・技能	国際的な視野に立った広範な文化の理解	
思考力・判断力・表現力	現代社会に必要とされるコミュニケーション能力	
思考力・判断力・表現力	体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力	
思考力・判断力・表現力	自己発信のプレゼンテーション能力	
意欲・関心・志向性	専門分野を超えて問題を探求する姿勢	
意欲・関心・志向性	国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲	
意欲・関心・志向性	自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野（自己管理能力・チームワーク）	
意欲・関心・志向性	生涯にわたって探求しようとする姿勢（生涯学習力）	
意欲・関心・志向性	多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲（社会的責任・チームワーク・リーダーシップ）	

建学の精神・教育の理念【音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする】

教職課程履修者は
～内の科目は必修

	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
教職課程	教職入門 教育学概説	教育心理学 教育相談・進路指導	教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 特別活動の指導法	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B	教育実習指導 教育実習	教職実践演習（中・高）
課外講座			キャリアガイダンス特別講座			教員採用試験受験特別講座		